



門 95
號 6570
卷 1



魯西政優 掠難錄卷の上

目錄

仙臺家伺記

一 河原野字 條目二 夷人制札

一 成後姓名二通

一 羽太安齋の書簡 南郡家伺

一 秋元會洋伺記

一 櫻井住居の書牘

一 中里隆書簡

昭和二十六年
六月十五日
購

equal number of people, the method of... (vertical text)

五月 文化五年

柴田兵庫

急田法

柴田兵庫 茂庭之助 尾崎之助 今村常次 七人

防兵振副

旧辺 保

中村公直 砂合仲吉 木高并医師 五指五人 職人六人 人足内者百 九指六人

山崎治法

形名百之三指六人

堤越源左衛門 氏家要人 瀬戸山之助 大高医師 八人

目付 武殿

村田吉之助

麻股五郎 平井林吉次 士或十六人 職人三人 人足内 九指六人

右通口姓以上

形名武百口指人

堤越源左衛門

河島平

- 一 帳美地... 一 至國... 一 耶蘇... 右... (vertical list of items)

享和二年二月

御墨印

筆履吉行

十知状

御

- 一 筆履殿寺江町人百姓等々々々江流及守等々々々今新設有常々々々々
- 一 帷夷人々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 精々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 箱館々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 一層物取揚方江路々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 帷夷人々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 一々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 筆履殿殿々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 右々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 作出也仍撰達出件

享和二年二月

連判

戸川龍之助
羽衣安藏

定

- 一 吳國々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 附々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 帷夷人々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 帷夷人々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 高人々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 仙船々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
- 一 右々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々

文化元年月日

筆履吉行

帷夷人制札

控

一形宗門の者さふ若外國の人を親む者
一一人と報したるさふの階を親む者
一人と所分又ハ監するもの之程を親む者
也者一

文化五年

筆籠

松平政子代人被八百人
南部左衛門守人被百人
丹波守左衛門守附五十人

寺田右衛門
寺田栄次郎

酒殿

寺田右衛門

石坂武清
折原政吉
六角仁清
田中玄吉
田中清八郎

下役

柳 権十郎
天田六之助
田中玄吉
柳 英吾

江尾呂府

松平政子代人被七百人
比正市原守
近後守八

久米左衛門

松平政子代人被五百人
吉田清左衛門
梅井清助

岩佐五之助
寺田右衛門

向井勘助
和田貞吉

子モロ

南越大徳寺主人救百人
増田令五郎

アツケシ

同人救五十人

河原五

太田彦助

主役

丹羽温次郎

ヒロフ

榎本精之助

シヤマニ

牛袋左之助

シツイシ

石原助太郎

シツイサレ

鈴木寛次

ホロハツアツタ

関 是右衛門

エトモ

石井吾之助

ヤモシナイ

西山平十郎

サワラ

原 半左衛門

主役

豊田 延吉郎

下役

玉井彦助

下役

大塚物次郎

下役

湯浅 孫作

河原五

松山良右衛門

下役

岩間 法次郎

下役

中村 信左衛門

主役

長野 忠左衛門

西地ソウヤ

松平令之助 人数五百人

河原五

三橋 三平

下役

小川 忠右衛門

三橋 信十郎

江差

河原五

鈴木 基内

主役

丹羽 三助

田村 忠右衛門

松前

松平令之助 人数百人

津軽 越中 人数百人

炭番村上 盛物 人数五十人

河原 延吉郎

相本 忠右衛門

三浦 忠右衛門

河原五

浪山 守平太

主役

久野 保和之助

河原五

小俣 次郎八

下役

遠坂 洋右衛門

三川 八平

河原五

村上 澄路三

森 是右衛門

中川 又右衛門

正徳元人

村上源房右衛門

近後俊昌

重松然五郎

井上玄翁

正

井上玄翁

大池平助

森田祐次

徳川幕府大将

松平政子代傳次

千八百石

右目録少将徳孝次

七百石

人数八百人余

久松尾治

松平政子代傳次

千貳百石

右目録少将徳孝次

七百石

人数五百人余

高野雅樂

生年四十九

森田雪記

正徳口フ

松平政子代傳次

千石

右目録少将徳孝次

八百石

人数六百人余

日野英馬

生年三十七

平丹下

松平政子代傳次

クナシリ

宥徳丸

山王丸

正徳口フ

天祥丸

安泰丸

以上

永久丸

通達丸

辰繁丸

厚徳丸

又吉丸

千鶴丸

貞徳丸

實樹丸

八幡丸

辰久丸

東地三方

松平政平代人救七百八

同人数六百八

エトロフ

比上市

岩波

近江

早川

辰

高橋次太夫

向井勘助

若田

和田

子モロ

南郷

同人数五十人

アツケ

大田

大隈

榎本

クスリ

丹羽

酒

戸

田

岩間

鈴木

トカナ

○同人数百人

ホロイ

ニヤマ

ウラフハ

ニツイ

湯浅

牛

杉山

石

イウフツ

中村

西山

原

長野

豊田

杉

大原

野

長

横井

佐田

徳

松

佐

ニフライ

関

福

石

大

寺

柳

石

折

天

石

田

田

宇

柳

箱

ウス

アマ

長

豊

杉

大

野

長

横

佐

徳

松

佐

徳

松

佐

西地三方

松平

同人数五百人

箱

マ

シ

カラフト

荒井年々清

宇之徳内

洞 全助

今川小之助

松田仁三郎

間宮林蔵

木原半之清

内原源吉郎

武之舟之助

新屋要八郎

若崎源吉郎

若良 庄之助

吉見弓之助

原系 庄一

平川半次郎

津輕越中の人數五拾人

イニヤリ

ニヤリ

龍崎一高左衛門

今井泉之助

大林惣内

佐原礼助

若尾八右衛門

坂中六右衛門

高橋三平

浪山守吉郎

小川吉吉郎

野原和之助

三橋猪十郎

津本辰十郎

大西恒右衛門

大島徳之清

水枝茂十郎

同人數百人

ルニツク

コレケ

ハニシケ

テシホ

松平令三助人數百人

富山元十郎

相本兵五郎

三浦吉十郎

森 是之助

中川又次郎

竹内五右衛門

村上清右衛門

井上吉左衛門

村上 監物

戸塚吉右衛門

夏目長右衛門

尾川又右衛門

神尾吉之助

山岡信十郎

松三郎

尾目付

尾目付

尾目付

尾目付

尾目付

尾目付

尾目付

尾目付

カラフト

同人數百人

近藤依右衛門

大池十右衛門

寺松徳五郎

森内 清次

西尾源次郎

今井三之清

三橋助吉郎

中山人目付

同人々人

小菅徳右衛門

山崎信之助

水攻宗一之助

水瀬作右衛門

中山人目付

カラフト

尾目付

尾目付

尾目付

尾目付

尾目付

尾目付

尾目付

一 前記の如く斗田島に在る夫の舟にナナナと云て一紙を預けし舟支配向赤土波口の人
地波の者とも一同之の集る中子當り不承也下ノ舟人等ともしヤナノ引渡シト下口ノ下口
ルツク去渡リヨク其南洋艦中ノ勤番同廿九日午九時迄ヲ口ニヤナナニ渡ルル事あり上陸
ヨリ地波人等と夫の舟同様に打掛の如くも火渡るに掛り舟輪に就けり人等自波而下
御杯を勤番其何田名類と名を告ぐと舟内後法炮を打懸る存令り其舟付取ら一舟内御
生を以て是外艦隊に以て者も有るは乃其名類ハ告知りし中一舟員其人其大船一級百人等
火渡野を獲入渡る如くし時りも漸く舟内勤番等物人取らる事あり二十人程を合し乃其
舟内より其去る道ニ下口ノ七人程を記し舟内之ヤナ法を以て舟内被取らる人取付程を告
不承知也上陸し方七百人程も有るし時りも舟内被取らる人取付程を告其舟内被取ら
不人ノ同七人法炮を舟取外取らる負以て取人等し舟内被取らる後以て五名を舟内
内ヲ口ニヤナナと云て其方ニ燒き舟内防方被取らる事あり此等之通ニシテナリ
一方ニエツと其舟内一舟員ノ生を記し舟内被取らる事あり又其舟内被取らる事あり
人等其取らる舟内一舟員ノ生を捕り外國ノ對し舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
い者其舟内一舟員ノ生を捕り外國ノ對し舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり

口二十人ノ法炮を舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり

一 常月十八日七時時於此舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり
舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり舟内被取らる事あり

五月廿日

五山酒を飲連名

梅井修長

此物... 勸方... 世... 止... 先... 荆... 用... 幸...
此物... 勸方... 世... 止... 先... 荆... 用... 幸...
此物... 勸方... 世... 止... 先... 荆... 用... 幸...

別紙

拙作... 日向... 縦横計不就慷慨志猶存... 百草原頭望京師黃河水流無盡時秋天曠野行人絕馬首東來知是誰

獨在異鄉為異客每逢佳節倍思親遙知兄弟登高處偏憐茱萸少一人
二月十五夜
走馬西來欲到天辭家見月兩回圓今夜不知何處宿平沙萬里絕人煙

五原春色舊來遲二月無楊未掛絲即今河畔冰開日應是長安花落時
君問歸期未有期巴山夜雨漲秋池何當共剪西窗燭却話巴山夜雨時
估又揮付之千裏下向...
客舍并州已十霜歸心日夜憶咸陽無端更渡桑乾水卻望并州是故鄉
又千行步

二月十三日

中里三次

大平大改... 中里三次

此物... 勸方... 世... 止... 先... 荆... 用... 幸...
此物... 勸方... 世... 止... 先... 荆... 用... 幸...
此物... 勸方... 世... 止... 先... 荆... 用... 幸...



